

31H 北出 美優 33H 脇本 一樹  
 34H 中村 晃輔 35H 中山 昂紘 36H 菅原 みゆき

■課題

雇用機会の不足により、能登の人口が流出している。

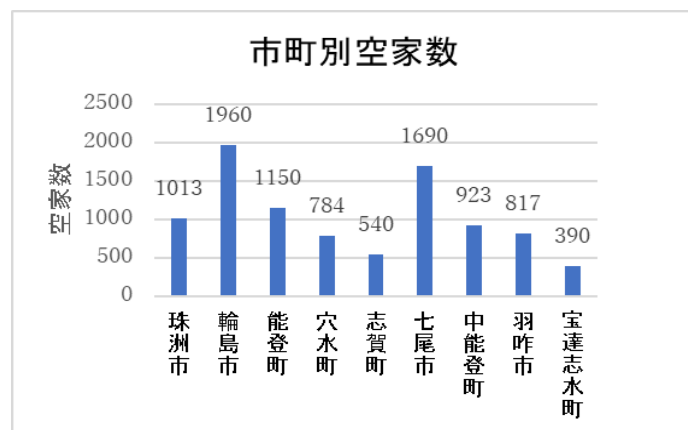
■解決策

廃校や空き家を利用して、職場を作って定住化をはかる。

■現状（課題の背景）

現在、能登では少子高齢化の影響により、廃校や空き家が増えてきている。人口流出の主な原因は、雇用機会の不足であるため、私たちはその廃校や空き家を利用して職場を作ることによって人口流出を抑制しようと考えた。

表1 空き家と廃校の現状

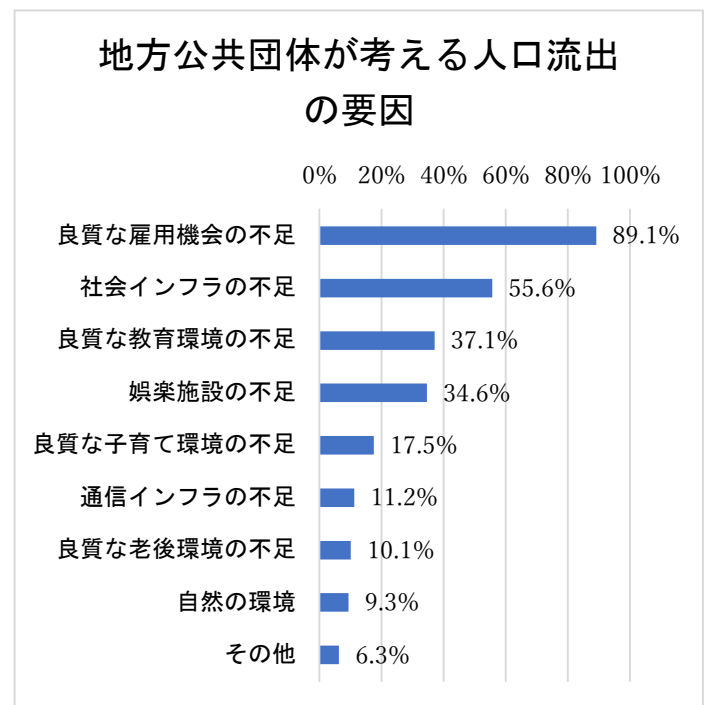


◎公立学校の発生数

49校

活用例 公民館、高齢者施設、福祉施設、  
 体験型宿泊交流施設

表2 人口流出の要因



■具体的内容

高校生のなりたい職業ランキングと能登にある職場数の差から、能登では医療施設と教育施設が不足していることが分かった。

○医療施設に利用する

地域の理解が得られやすい

→地元の方の**生活の利便性の向上**が望まれる

○教育施設に利用する

小中学校は地域コミュニティのシンボルとなる

→**地域の活性化**が望まれる

■効果

空き家を利用し、職場を作り、定住化をはかる

→高齢化が進む地域に根付く、歴史的文化を維持できる



図1 廃校から大学施設へと利用された珠洲市旧小泊小学校（左）と診療所へと利用された西予市三瓶中学校（右）

■参考文献

- 1) 珠洲市空き家等対策計画（その他、輪島市、能登町、穴水町、志賀町、七尾市、中能登町、羽咋市、宝達志水町）  
<https://www.city.suzu.lg.jp/data/open/cnt/3/2121/1/suzusiakiyatoutasidakukeikaku.pdf?20200826094005>
- 2) 総務省 | 平成27年版 情報通信白書 | 人口流出の背景  
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h27/html/nc231120.html>